

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 7 部門第 1 区分
【発行日】 令和 6 年 12 月 2 日 (2024.12.2)

【国際公開番号】 WO2023/182109
【出願番号】 特願 2024-510069 (P2024-510069)
【国際特許分類】

H 0 1 M 4/62(2006.01)
H 0 1 M 4/139(2010.01)
H 0 1 M 4/13(2010.01)
H 0 1 M 10/0562(2010.01)
H 0 1 M 10/052(2010.01)
H 0 1 M 10/0585(2010.01)

10

【F I】

H 0 1 M 4/62 Z
H 0 1 M 4/139
H 0 1 M 4/13
H 0 1 M 10/0562
H 0 1 M 10/052
H 0 1 M 10/0585

20

【手続補正書】
【提出日】 令和 6 年 7 月 8 日 (2024.7.8)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】 特許請求の範囲
【補正対象項目名】 全文
【補正方法】 変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

30

有機溶媒と、前記有機溶媒に溶解しているポリマーバインダーとを含有する二次電池用バインダー組成物であって、

前記バインダー組成物中に沸点 120℃未満の低沸点有機溶媒 (A) を $3 \sim 1.0 \times 10^5$ ppm 含有する、二次電池用バインダー組成物。

【請求項 2】

前記有機溶媒が、前記低沸点有機溶媒 (A) と、沸点 120℃以上の高沸点有機溶媒 (B) を含む、請求項 1 に記載の二次電池用バインダー組成物。

【請求項 3】

前記ポリマーバインダーを構成するポリマーが、下記官能基群 (I) から選択される官能基を少なくとも 1 つ含む構成成分を有する、請求項 1 又は 2 に記載の二次電池用バインダー組成物。

40

<官能基群 (I)>

エステル基、カルボキシ基、ジカルボン酸基、カーボネート基、チオエステル基、チオカーボネート基、アミド基、ウレタン基、ウレア基、イミド基

【請求項 4】

前記ポリマーバインダーを構成するポリマーが、(メタ)アクリル酸エステル化合物に由来する構成成分を含む、請求項 1 又は 2 に記載の二次電池用バインダー組成物。

【請求項 5】

前記低沸点有機溶媒 (A) の Log P 値が 2.0 以下である、請求項 1 又は 2 に記載の二次電池用バインダー組成物。

50

【請求項 6】

前記低沸点有機溶媒（A）の沸点が 90℃以下である、請求項 1 又は 2 に記載の二次電池用バインダー組成物。

【請求項 7】

前記二次電池用バインダー組成物中における前記低沸点有機溶媒（A）の含有率が $3 \sim 3.0 \times 10^3$ ppm である、請求項 1 又は 2 に記載の二次電池用バインダー組成物。

【請求項 8】

請求項 1 又は 2 に記載の二次電池用バインダー組成物を含有する非水二次電池用組成物。

【請求項 9】

周期律表第 1 族若しくは第 2 族に属する金属のイオンの伝導性を有する無機固体電解質を含有する請求項 8 に記載の非水二次電池用組成物。

【請求項 10】

前記無機固体電解質が硫化物系無機固体電解質である、請求項 9 に記載の非水二次電池用組成物。

【請求項 11】

活物質を含有する、請求項 8 に記載の非水二次電池用組成物。

【請求項 12】

請求項 8 に記載の非水二次電池用組成物で構成した層を有する全固体二次電池用シート。

【請求項 13】

正極活物質層と固体電解質層と負極活物質層とをこの順で具備する全固体二次電池であって、

前記正極活物質層、前記固体電解質層及び前記負極活物質層の少なくとも 1 つの層が、請求項 8 に記載の非水二次電池用組成物で構成した層である、全固体二次電池。

【請求項 14】

請求項 8 に記載の非水二次電池用組成物を製膜する、全固体二次電池用シートの製造方法。

【請求項 15】

請求項 14 に記載の製造方法を経て全固体二次電池を製造する、全固体二次電池の製造方法。

10

20

30

40

50